

会報・会誌委員会

一 発行のねらい

小県上田教育会機関誌として、会誌・会報の編集発行を通して、教育会の事業内容を会員に紹介する。また、会員の論説・研究・随想などを適宜掲載し、相互の理解や研鑽の場を提供する。

二 編集方針

1 会報「上小教育会報」263号、264号の発行

- (1) 上小教育会の決定事項、事業の内容や会暦等を会員に報告する。
- (2) 学習指導委員会・調査研究等委員会の計画と研究の歩みを掲載する。
- (3) 教育現場における今日的課題やあり方等の会員の意見を掲載する。
- (4) 会等を考慮して、会員に依頼した執筆原稿を掲載する。
- (5) 前会員、郡外の先生方からの寄稿も掲載する。

2 会誌「上小教育」66号の発行

- (1) 教育会総会、菅平夏季大学、論説、研究、教育実践、随想、同好会の歩み、支会だより、会暦、視察報告等を掲載。
- (2) 支会、学校等を考慮し、執筆原稿を集め掲載する。

※会報・会誌共に、教育の専門職に携わる教職員の機関誌にふさわしい、質の高いものにする。

三 発行と発行内容

1 会報「上小教育会報」263号 8ページ 令和4年7月19日発行

○巻頭言 自ら求め、熱き思いを未来につなぐ教育会 笠原 利幸 会長 (以下敬称略)

○退職者だより

- ・With コロナの新しい歩みへ 関 茂
- ・お支えに感謝 小林 政徳
- ・感謝 田畑 卓朗

○表彰された先生方

○今年の抱負

○「新会員の抱負」「教師塾研修報告」「教育の広場」等を掲載

○学習指導研究委員会・調査研究等委員会の研究計画、委員名簿、上小教育会役員・年間計画

2 会報「上小教育会報」264号 8ページ 令和4年12月19日発行

○巻頭言 共に探究する小県上田教育会 橋詰 文彦 副会長

○菅平夏季大学感想

○学習指導・調査研究等委員会研究報告

○「教室の窓」を掲載

3 会誌「上小教育」66号 約300ページ 令和4年3月上旬発行予定

○巻頭言 自ら求め、熱き思いを未来につなぐ教育会 笠原 利幸 会長

○菅平夏季大学

歴史 「近世末期 上田領農村復興策 ―犬飼情兵衛と塩田中野村―」 尾崎 行也 先生

教育 「発達障害の理解と、どの子ども輝くユニバーサルデザインの教育」

京極 澄子 先生

自然科学 「子育てしない鳥 カッコウの托卵と進化」

中村 浩志 先生

芸術 「音楽づくりの魅力と楽しさと ―子どもと音楽づくり―」

松井 孝夫 先生

スポーツ 「全てのスポーツの基本運動である『体づくり運動』とは何か」

三宅 良輔 先生

哲学 「今、木村素衛の思想に即して考えたいこと ―私たちの歴史的現在と学びの身体性」

西村 拓生 先生

○郡外通信 宮澤 雅法 武内 裕 奥村 典代 宮田 宗人

○以上の他に「論説」「研究」「教育実践」「随想」「同好会の歩み」「寸感・文芸」「支会だより」「視察報告」「会暦」「石井鶴三美術資料室だより」等を掲載した。

四 反省とまとめ

- 1 今年度は、小学校7名と中学校1名で活動を行った。原稿依頼と原稿回収は支会ごとに行うため、各支会1名の委員は必要。
- 2 会報264号と会誌66号から、原稿依頼は紙面(封筒配付)とデータ(メール配信)で行った。また、メール配信の際に原稿の雛型を添付した。原稿回収の際に、執筆者からの原稿の文字数等が統一されたため、264号を発行する際の割り付け作業を省略することができ、委員会の回数を1回減らした。
- 3 副委員長が会合通知、会計係が会計を行い、役員として中心になって進めた。継続委員の前年度の委員長と推進係と委員長が相談を重ね、作業が確実に進んだ。
- 4 会報は年2回(7月・12月)発行し、会誌は年1回(3月発行予定)であった。教育会役員・世話係・代議員・執筆会員・教育会館職員・信教印刷の方々の協力により充実した機関誌となった。心から感謝申し上げます。